

日本サッカーの始祖 熊野の中村覚之助

YATAGARASU

太陽の精・シンボルとしての三足鳥。神武天皇東征軍を南山・熊野から導いたとされる建国神話の八咫鳥も“同類”とされる。以来、熊野三山では三足鳥の八咫鳥が神鳥として崇められ、その伝承は熊野信仰とともに広がり、日本サッカー協会のマークにもなっている。世界遺産にもなった聖地熊野が生んだ八咫鳥の由来と「生息環境」を学び、その神性が日本サッカー協会のマークにふさわしい意義を内包していることを推考する。

また、このマークの発創に影響を与えたとされる人物に、熊野那智村浜の宮（現那智勝浦町）出身の中村覚之助がいる。彼は、明治36年、東京高等師範学校在学中、嘉納治五郎校長の命で坪井玄道教授が欧州から持ち帰った資料を基に、日本初のサッカー指導書「アソシエーションフットボール」を翻訳・出版した。翌年2月6日には日本初の東京高師チームと横濱外人倶楽部の対外試合を主導するなど、「日本近代サッカーの始祖」と称された。

本シンポジウムでは、中村覚之助が日本サッカーの黎明期の礎を築き、その後の発展に寄与した業績を検証し、日本サッカー史上の位置づけと役割を明らかにしようとするものである。



明治37年2月6日、日本人初のサッカーの対外試合の記念写真
(上の段向かって右から三人目の学生服の人物が中村覚之助氏)

日 時:平成22年2月6日(土)13時30分～16時【開場:13時】
会 場:国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟小ホール
入場料:無 料(事前申込必要 / 定員 300 名)

プログラム

- 13:30 開会挨拶
基調報告「熊野の神鳥・八咫鳥の由来とねらい」 山本 殖生【熊野三山協議会幹事】
- 14:00 パネルディスカッション
パネラー報告
「覚之助が世に出た一枚の写真と想い」 中村 統太郎【中村覚之助氏の子孫】
「嘉納治五郎と中村覚之助」 真田 久【筑波大学人間総合科学研究科教授】
「中村覚之助の中国での足跡」 加藤 弘【和歌山大学教育学部教授】
- パネルディスカッション
パネラー 上記報告者3名
コーディネーター 中塚義実【筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブ幹事長・
スポーツ文化研究会サロン2002理事長】

主催:熊野三山協議会(熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社・那智山青岸渡寺・和歌山県田辺市・新宮市・那智勝浦町)
共催:筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブ、日本サッカー史研究会、スポーツ文化研究会サロン2002
後援:財団法人日本サッカー協会、日本サッカーミュージアム、横浜カントリーアンドアスレチッククラブ(YC&AC)
ピバ!サッカー研究会、中村覚之助を顕彰する会、和歌山県、熊野三山もてなし推進委員会

同時開催

「中村覚之助と八咫鳥のふるさと 熊野」紹介コーナー

中村覚之助と八咫鳥の故郷で世界遺産の地でもある熊野【和歌山県田辺市本宮町、新宮市、那智勝浦町】の魅力を紹介したパネル展示、特産品紹介、パンフレット配布等を行います。

日時:2月6日13時～16時30分

場所:カルチャー棟 展示コーナー

シンポジウム「日本サッカーの始祖 熊野の中村覚之助」

登壇者プロフィール

基調報告者 山本 殖生

明星大学人文学部卒業。新宮市教育委員会学芸員を経て、現在は熊野三山協議会幹事。日本山岳修験学会理事、日本宗教民俗学会委員、国際熊野学会常任委員（事務局長）
著書『世界遺産「川の参詣道」熊野川の魅力』。論文「熊野の八咫鳥伝承の成立と展開」（『宗教民俗研究』）。

パネラー 中村 統太郎

専修大学経営学部卒業。金融機関勤務を経て、現在は農業に従事。那智勝浦町浜の宮の熊野三所大神社総代。
中村覚之助は統太郎氏の大叔父にあたる。

パネラー 真田 久

筑波大学体育専門学群卒、筑波大学大学院体育研究科修了。筑波大学教授（スポーツ人類学担当）
古今東西のオリンピックの歴史とオリンピックの教育的展開について研究。最近では、教育家としての嘉納治五郎にはまる。
主な論文：嘉納治五郎主導による水術の再編に関する研究（体育学研究 2007）、東京高師校長嘉納治五郎と校友会運動部の発展（講道館柔道科学研究会紀要 2009）、19世紀のギリシャオリンピック競技祭における芸術競技（体育学研究国際誌 2009）。

パネラー 加藤 弘

東京教育大学卒業、筑波大学大学院修士課程体育研究科（運動医学）修了。同大学大学院博士課程体育科学研究科（体力生理学）単位取得退学。和歌山大学教育学部助手を経て現職。
著書「学校保健用語辞典」。論文「Echocardiographic Study on Athletic Heart」「サッカー練習機における look up skill の改善」。

コーディネーター 中塚 義実

筑波大学体育専門学群、同大学院修士課程体育研究科（スポーツ社会学専攻）を経て、1987年より筑波大学附属高等学校保健体育科教諭・サッカー部顧問。主宰している「サロン2002」は、サッカー・スポーツを通しての“ゆたかなくらしづくり”を“志”とする異業種ネットワークで、その前身を含めると20年以上の活動となり、全国に約150名の会員を有する。
著書『現代スポーツのパースペクティブ』（大修館書店、共著）など。

会場

国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟小ホール
（東京都渋谷区代々木神園町3番1号）
小田急線参宮橋駅下車、徒歩約7分
地下鉄千代田線代々木公園駅下車、徒歩約10分
カルチャー棟は正門を入れてすぐ左手にございます

参加申込方法

- 参加申込書に必要事項を記入の上、この用紙をFAXでお送り下さい。
- 申し込んだ個人情報厳重に管理し、本シンポジウム実施以外の目的で使用することはありません。

参加申込・問合せ先 熊野三山協議会事務局

（和歌山県新宮市春日1-1 新宮市役所内）

TEL:0735-23-3357 FAX:0735-21-7422



参加申込書

お名前	ご住所	連絡先

2010サッカーワールドカップ南アフリカ大会での日本代表必勝を祈願して記帳所を開設します!!

開設日時 平成22年2月6日(土)～3月6日(土)10時～19時(日曜・祝日は17時まで)

開設場所 わかやま喜集館(東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1階)

皆様方に記帳いただいた記帳書は熊野三山【熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社・那智山青岸渡寺】で執り行う必勝祈願祭において奉納した後、(財)日本サッカー協会にお届けする予定です。
皆さんの強い思いで、代表の雄姿を南アフリカの大地に羽ばたかせましょう!